

初夏の山田池公園へ (第72回くらわん会 2002/06/04)

京阪電車牧野駅のすぐ近くの片埜神社に隣接した牧野公園には、いつものようにいつもの人たちが早くから集まり、おしゃべりに余念がない。桜で有名な枚方八景の一つで、木陰も多く憩いの場になっている。今日は山田池方面にゆくことになり、くらわん会では定番のコースである。

国の重要文化財に指定されている片埜神社の荘厳な神殿を横目で見ながら通り抜け、一行は長い行列になり穂谷川沿いの遊歩道を山田池を目指す。あたりは住宅街と工場地帯で緑陰もない炎天の元をもくもくと歩く。国道1号線の下のトンネルをくぐると、目の前に山田池公園の森が見えてくる。

ここ山田池公園は府営の公園であるが、枚方市民にとっては、おらが公園としておなじみである。山田池を取り囲んで鬱蒼とした緑と花菖蒲園、アジサイ園、睡蓮池などが配された市民の憩いの場になっている。ここも枚方八景の一つに数えられている。一行は西門から公園に入っていく。やっと涼しい緑陰にたどり着きほっと一息つく。

池の周りを半周し、アジサイ園、睡蓮池のほとりを歩く。アジサイには少し早いですが、睡蓮はびっしりと池を覆い尽くした葉の中から白や赤の可憐な花がのぞく。花菖蒲園は今が盛りとさまざまな色の花が咲き誇っている。それぞれに名前がついており、江戸時代から園芸種として丹精こめて作られた品種なのであろう。ここで1時間の昼食の時間となり、それぞれ思い思いの場所に陣取り弁当を楽しむ。



片埜神社の境内を通り抜けて南門から穂谷川緑道に向かう

お天気に恵まれ原代表もご機嫌のご挨拶、今月も百五十三名が集まる



すぐ隣の片埜神社東門から境内へ



国の重要文化財に指定されている片埜神社の荘厳な神殿を横目で見ながら通り抜け



一行は長い行列になり穂谷川沿いの緑道を山田池を目指す





炎天の穂谷川緑道を歩き、国道1号線を越えて山田池公園西口から入る

午後は穂谷川左岸沿いの道を、今度は藤坂駅に向かって歩いていく。今日は大阪は日中 31 度を記録し真夏並の暑い日となった。周りは田植えの終わった田が広がり、穂谷川も水が涸れて夏草が生い茂っている。暑い盛りの中、かなり疲れてきた一行は段々と行列も長く途切れ途切れになっていく。それにしてもくらわん会の皆様は元気なものである。年金が切り下げられるというのに。

石田富雄記



山田池公園は府営の公園だが、市民には馴染みの公園、山田池を取り囲んで鬱蒼とした涼しい緑陰にほっと一息、

睡蓮はびっしりと池を覆い尽くした葉の中から白や赤の可憐な花がのぞく



アジサイには少し早かったがもう花が開き始めたものもあった

池の周りを半周して満開の花菖蒲園に到着



山田池の花菖蒲園前の広場で思い思いに昼食を摂る、木陰には池を渡る爽やかな風が通る

花菖蒲園は1980年3月に作られたが、手入れが行き届いている、朝露の時間に見るともっと生き生きしている





色とりどりに満開の花菖蒲に迎えられて、暑さも吹っ飛び満足



花菖蒲園の中でひとときわ輝いている花を見つけた



江戸系、肥後系など様々な花菖蒲が栽培されていた



江戸系「沖津白波」は、風変わりな6枚の花弁が開いていた



江戸系「水の光」は、くすんだ淡いブルーの花弁に中央の黄色の彩りが上品な雰囲気



濃いピンクの縁取りの花弁が華やかな江戸系「滋賀の浦波」



濃い紫の中央花弁の周りに薄紫の花弁が取り巻く江戸系「追風」



穂谷川左岸の木陰を求めながら、JR藤阪駅に向かう



この辺りの穂谷川は、日照り続きのせいか水が無く雑草が生い茂っている

駅近くに広場がないため穂谷川岸の空き地で今日は解散となる



<行程>

京阪牧野駅⇒牧野公園⇒片埜神社⇒穂谷川緑道⇒山田池公園⇒穂谷川緑道⇒JR 藤阪駅
約8km 2002年06月04日(火) 153名参加